

認知症になっても安心して暮らせる多賀町

9月
は
アル
ツ
ハイ
マー
月
間

認知症は誰もがなりうるものです。現在、高齢者の8人に一人が認知症、7人に一人が認知症の前段階MCI(軽度認知障害)と言われています。自分自身や身近な方が認知症と診断されることは珍しくありません。生活上の困難が生じた場合も重症化を予防しつつ、本人や家族が希望を持って暮らしていける町と一緒に作りましょう!

多賀町は、誰もが安心して支えあえるまちづくりを進めています!

徐々に現れる認知症の兆候…

認知症の兆候は、徐々に表れることがほとんど。早期に治療すれば進行を遅らせる可能性が高くなります。また、今後の生活や介護について、本人の意思を尊重した計画を立てることができます。

「以前と比べてもの忘れが増えた」「同じ話をくりかえすようになった」「以前はできていた作業ができなくなった」など気になる症状がある場合は**地域包括支援センター**または、かかりつけ医にご相談ください。

「認知症を知る・読むキャンペーン」を開催します!

図書館では認知症関連本を集めた展示ブース、ふれあいの郷では、認知症キャラバン・メイトの活動紹介、中央公民館では、認知症予防に取り組む自主活グループの作品、町内グループホームの方々の作品を展示しています。

■期 間 9月1日～9月30日



ぜひ、
お立ち寄り
ください



昨年の
キャンペーンの様子



図 書 館

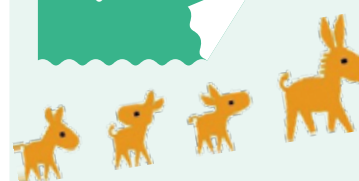


ふれあいの郷



中央公民館

認知症を
学ぶつどい
を開催
します!



在宅医療サポートセンター「とよサポ」の看護師として外来・病棟そして地域へと活動されている認知症看護認定看護師 堀尾 素子師長にMCI(軽度認知障害)や認知症、また、認知症予防についてご講演いただきます。

- 日 時 9月26日(土) 13:30～15:30(受付13:00～)
- 場 所 多賀町中央公民館「多賀結いの森」ささゆりホール
- 内 容 第1部「認知症キャラバン・メイト 活動報告」
第2部「ちょっと一息!認知症予防体操」
講 師: 滋賀県リハビリテーション推進団体協議会 佐々木 恵 理学療法士
第3部「もしかして?その物忘れ…～認知症の前に気づけるサイン～」
講 師: 豊郷病院 認知症看護認定看護師 堀尾 素子師長



昨年のようす

認知症キャラバン・メイトをご存じですか?

認知症キャラバン・メイトとは、認知症に対する正しい知識と具体的な対応方法などを住民の皆さんへ伝えるボランティア活動をされている方たちです!(現在町内に26人)「認知症を学ぶつどい」やアルツハイマー月間、ふるさと楽市などで啓発活動に取り組まれています。また、「認知症サポーター養成講座」を毎年、小学校6年生や中学3年生、地域の方向けにおこなわれています。

認知症サポーターとは、認知症の人やその家族を温かく見守る「応援者」のことです。町内の多くの方に認知症サポーターになっていただきたいと、活動されています!認知症サポーターに興味をお持ち方は、地域包括支援センターにご連絡ください。

サロンなど、少人数の集まりでも、講座を開催できますよ!



中学校での認知症サポーター
養成講座のようす

オレンジカフェとは「認知症カフェ」です。認知症の方々やそのご家族、また、地域の皆さんが気軽に集まり、交流できる場所です。お茶やおしゃべりを楽しむ場として、認知症などについての相談の場として、お気軽にご利用ください。



カフェ「あんばい」

- 日 時 毎月 第1金曜日
13:30～15:30
- 場 所 もんぜん亭(多賀1322-1)

カフェ「ひまわり」

- 日 時 毎月 第3木曜日
13:00～15:00
- 場 所 こいしまるの家(富之尾1586-2)

認知症に関する支援や情報のお問い合わせは

多賀町地域包括支援センター
電話 0749-48-8115

(多賀町福祉保健課/多賀町総合福祉センター ふれあいの郷内)
(有)2-2021